

セタナキンポウゲ

札幌市 本多 丘人

セタナキンポウゲという名の植物があるのをご存じでしょうか。道内の植物に詳しい方でも、ほぼ初耳かと思います。セタナキンポウゲは新称であり、これまでに多くの人たちの目に触れていたのに種名が記載されていなかったことから、最近(2019年12月)になって名称が決められたものです。私は植物の専門家ではないので、ここでは学術的なことにはあまり触れずに、この植物が新種として発表されたいきさつを少し詳しく記しておきたいと思います。

長い道のり

振り返れば数十年間も、趣味として花などを眺めたり撮影したりしながら野生植物を楽しんできました。毎年春が来ると気分は盛り上がります。大型連休のころには札幌近辺では開花植物がまだ少ないので、いつしか足は南に向かうようになりました。南といっても本州や東南アジアではなく、もっぱら道南方面です。

せたな町にある自然公園。地元ではミズバショウやエゾノリュウキンカの群生地として親しまれています。ここは沼の周囲をぐるりと一周できる遊歩道が整備されていて、一部にはちゃんと木道まで設置されているので手軽に野生植物の観察ができます。今のところ、確認されているセタナキンポウゲの生育地はこの公園だけです。ミズバショウが見事に咲き

そろそろ時期にはセタナキンポウゲは未開花であり、ミズバショウの時期が終わりに近づきセタナキンポウゲが開花する時期にはエゾノリュウキンカの大群落が見頃となるので、そちらに気をとられてセタナキンポウゲは無視されてきたのかもしれない。

実は私もそういった一般の人たちと同様で、花があってもなくてもあまり気にしていなかったのだと思われます。自分の場合にはキンポウゲ属(*Ranunculus*)で最も好きなものはエゾキンポウゲであり、その他のミヤマキンポウゲとかハイキンポウゲ、キツネノボタンなどにはあまり関心がなく、外来種もいろいろあるようだと思ってからは道ばたでキンポウゲ属を見てもますます無視する傾向があったようです。このせたな町の公園には、春に限っても2003年5月3日、2004年4月29日、2007年5月5日、2010年4月25日、2012年5月5日に訪れた記録があります。しかしその10年間、キンポウゲの写真はまったくなし。花も見ていたはずですがスルーしていたのでしょう。ただの花好きのアマチュアとはいえず、お恥ずかしい。初めてこのキンポウゲを意識して写真を撮ったのは2014年5月4日。もちろん同定はできず、「キンポウゲ不明種」としてあります。翌2015年春にはせたな町には行けず、その翌年の2016年5月3日、またまたこの自然公